

女性が輝く社会づくりにつながるトイレ等の環境整備・利用のあり方 取りまとめ骨子案

1. トイレ

○ 女性トイレの行列解消

《検討項目》

- ・利用実態を踏まえた便器数の確保（男女切り替えトイレを含む）
- ・洋式トイレの整備
- ・パウダーコーナー/ルーム等の設置

《取組の方向性》

【基本的方向性】

- ・新設や改修のタイミングで
 - ・女性トイレの混雑緩和のため、利用実態（予測）を踏まえた便器数を柔軟に確保する
 - ・確保にあたっては洋式トイレを基本とする。

【個々の事情に応じた方向性】

- ・新設や改修のタイミングで
 - ・男女別の便器数のバランス・設置箇所の適切性を検討する
 - ・和式トイレのニーズもあることから、個室数が多い場合などは一部に和式トイレを設置する
 - ・個室トイレ内での用足し以外の利用（化粧、身だしなみ等）が混雑の原因となっていることから、そのための関連施設（フィッティング・パウダーコーナー/ルームなど）を整備する
- ・混雑状況を知らせる案内板等を設置する
- ・近隣施設と連携して誘導できるシステムを構築する
- ・イベント開催時等一時的に需要が急増する場合は仮設トイレ（洋式トイレを基本とする）を設置する

○ トイレの清潔性・快適性の向上

《検討項目》

- ・清潔なトイレ環境の整備
- ・洋式トイレの整備（再掲）
- ・温水洗浄便座や擬音装置、暖房便座等の導入
- ・パウダーコーナー/ルーム等の設置（再掲）

《取組の方向性》

【基本的方向性】

- ・清潔なトイレ環境の維持のため、管理者等による定期的な清掃を行う。
- ・新設や改修のタイミングで
 - ・汚れにくい素材、清掃しやすい素材を使用する（便器、床、壁）
 - ・衛生面を考慮し、洋式トイレの設置を基本とする

- ・トイレの操作方法がわからず流さないまま出て行くなど、清潔性を損ねることを防ぐため、イラストを活用するなどわかりやすく表示する
- ・訪日外国人向けに、イラストの活用や多言語表記などによりトイレの利用方法をわかりやすく表示する。

【個々の事情に応じた方向性】

- ・トイレの付属設備（温水洗浄便座、擬音装置、暖房便座など）を導入する
- ・利用者が清潔に使用できる備品（アルコール消毒、汚物入れ、消臭など）を設置する
- ・新設や改修のタイミングで、トイレ使用以外の利用分散のため、関連施設（パウダーコーナー/ルームなど）を整備する【再掲】

○ トイレの安全・安心の確保

《検討項目》

- ・監視カメラや防犯ブザーの設置等ハード面の整備
- ・警備員の巡回等ソフト面の対策

《取組の方向性》

【基本的方向性】

- ・トイレ施設内・周囲の明るさを確保する
- ・防犯のため、管理者等による定期的な巡回を行う

【個々の事情に応じた方向性】

- ・新設や改修のタイミングで、人通りの少ない場所に設置しないなど設計の段階から配置（設置場所、出入り口の位置など）を工夫する
- ・防犯設備（監視カメラ、防犯ブザーなど）を設置する
- ・個室や手洗いスペースに荷物の置き場所を確保する
- ・共用空間に大きな荷物を置いたままトイレを利用する場合もあることから、盗難防止に配慮した荷物の置き場所を確保する
- ・セキュリティ管理された有料トイレを設置する

○ トイレの情報発信

《検討項目》

- ・施設内、地域におけるトイレの設置位置情報
- ・男女別便器数等の設備情報
- ・トイレの混雑情報
- ・操作ボタン等の利用方法

《取組の方向性》

【基本的方向性】

- ・混雑回避や利便性向上のため、トイレの位置情報に加え、設置備品など設備情報も提供する
- ・日常的に混雑するトイレには、その旨明示し、近傍の利用を案内する。

【個々の事情に応じた方向性】

- ・ I T機器（電子案内板、アプリなど）を活用したトイレの位置情報及び設備情報（個室数、設置備品など）を提供
- ・ リアルタイムの混雑情報を電子案内板等で提供
- ・ 観光地等における一般利用可能なトイレマップ（周辺施設のトイレ開放の働きかけを含む）の作成、配付

○ トイレの利用マナーの啓発

《検討項目》

- ・ 清潔なトイレ利用
- ・ 混雑時における他利用者への配慮

《取組の方向性》

【基本的方向性】

- ・ 清潔な利用を呼びかける
- ・ 混雑回避や利用マナーの啓発のため、目的外使用（食事、読書、更衣など）を控えるよう呼びかける
- ・ トイレの操作方法がわからず流さないまま出て行くなど、清潔性を損ねることを防ぐため、イラストを活用するなどトイレの操作方法などをわかりやすく表示する
- ・ 訪日外国人向けに、イラストの活用や多言語標記などによりトイレの利用方法をわかりやすく表示する。

【参考】国交省所管分野で働く女性にとってのトイレに関する取り組み

2. 授乳・調乳スペース

○ 授乳・調乳スペースの設置

《検討項目》

- ・ おむつ替えスペースと別ゾーンへの授乳・調乳スペースの設置
- ・ 給湯器、電子レンジ、ゴミ箱等の設備
- ・ 調乳関係設備の安全・衛生面の確保

《取組の方向性》

【基本的方向性】

- ・ 新設や改修のタイミングで、授乳・調乳スペースの設置を検討する
- ・ 授乳・調乳に必要な設備（椅子、給湯器、洗面台など）を設置する
- ・ 衛生上の観点から食と排泄を区別するため、授乳・調乳スペースは、トイレ・おむつ替えスペースとは別空間に設置する
- ・ 調乳スペースなど、男性も利用可能なスペースは男女ともに利用しやすい

色使いにする

【個々の事情に応じた方向性】

- ・授乳や調乳の専用スペースを設置できない場合、求めに応じ、既存施設を一時的に提供する
- ・授乳・調乳スペース内に大きな荷物やベビーカーを置く場所を確保する
- ・リラックスして授乳や調乳ができるような、設備（身づくろい用の鏡や飲料自動販売機など）の設置や空間づくり（落ち着いたBGMを流すなど）を工夫する。

○ プライバシーに配慮した授乳スペースの整備

《検討項目》

- ・調乳スペースの明確な空間的分離
- ・個室と共同スペースの選択

《取組の方向性》

【基本的方向性】

- ・男性利用にも配慮し、授乳スペースと調乳スペースは、壁等により空間的に分離する（防犯上の問題にも配慮する必要がある）。
- ・プライバシー確保のため、出入りの際に中の様子が見えないよう、動線等を工夫する

【個々の事情に応じた方向性】

- ・個室及び共同の授乳スペースの双方を設置する

○ 授乳・調乳スペースの情報発信

《検討項目》

- ・施設内、地域における授乳・調乳スペースの設置位置情報
- ・授乳・調乳スペースの設備情報
- ・授乳・調乳スペースの表示の明確化

《取組の方向性》

【基本的方向性】

- ・利便性の向上のため、場所情報に加え、設備情報（給湯設備・流し台など）も提供する
- ・共同の授乳スペースには「男性入室不可」の表示を行う。
- ・個室及び共同の授乳スペースや調乳スペースを備える施設では、男性利用に配慮し、入口に男性が利用可能な空間範囲を表示する
- ・誤認防止や利便性の向上のため、目的に応じたわかりやすいマークの表示や説明を記載する

【個々の事情に応じた方向性】

- ・IT機器（電子案内板、アプリなど）を活用する

3. おむつ替えスペース

○ おむつ替えスペースの設置

《検討項目》

- ・おむつ交換台の数・配置・間隔
- ・おむつ用ゴミ箱等の設備

《取組の方向性》

【基本的方向性】

- ・新設や改修のタイミングで、おむつ替えスペースの設置を検討する
- ・男女ともに利用しやすい色使いにする
- ・おむつ交換台を複数設置する場合は、空いているおむつ交換台の前にベビーカーや荷物を置くことで、他の人が利用できないことがないように、おむつ交換台の配置を工夫する。
- ・おむつ替えに必要な設備（おむつ用ゴミ箱など）を設置する
- ・授乳または調乳とおむつ交換をする場所をまとめて設置する場合は、授乳または調乳スペースとおむつ替えスペースとは、衛生面で影響が出ないよう空間的に分離する

○ 男女双方トイレへのおむつ替えスペースの確保

《取組の方向性》

【個々の事情に応じた方向性】

- ・男性トイレにもおむつ替えスペースを設置する
- ・おむつ交換時のプライバシー配慮のため、カーテンによる仕切り、動線の工夫などを行う
- ・子ども利用を対象とした設備（子供用トイレ、洗面台など）を設置する
- ・個室便房や共用空間におむつ替えスペースを設置する場合は、
 - ・ベビーカーも一緒に入れる個室便房を整備する
 - ・共用空間にベビーカーや大きな荷物を置く場所を確保する

○ おむつ替えスペースの情報発信

《検討項目》

- ・施設内、地域におけるおむつ替えスペースの設置位置情報
- ・おむつ交換台の数等の設備情報

《取組の方向性》

【基本的方向性】

- ・利便性向上のために、場所情報に加え、設備情報（おむつ交換台数など）も提供する

【個々の事情に応じた方向性】

- ・IT機器（電子案内板、アプリなど）を活用する

注：【基本的方向性】は、おおむね全ての施設設置管理者が、できるだけ早期に、あるいは新設や改修のタイミングでしかできないものはそのタイミングで取組に努めるもの。

また、【個々の事情に応じた方向性】は、施設設置管理者の事情を踏まえつつ可能なところから積極的な取組に努めるもの。